

令和5年度 青葉区予算編成の基本的な考え方(案)

1 背景

新型コロナウイルス感染拡大の長期化は、区民生活にも大きな影響を及ぼしており、その対応が喫緊の課題となっています。

コロナ禍による影響として地域での連携が模索され、さらに少子高齢化や人口減少など大きな社会変動を踏まえ、「住みつづきたい・住みたいまち 青葉」を目指し続けるために、地域活動の「きっかけづくり」だけでなく、「つながりづくり」が求められています。

令和6年に迎える区制 30 周年を踏まえ、10 年 20 年先の青葉区の新たな発展に向けて、区民の皆様とご一緒に、魅力を高める取組を進めていく必要があります。

2 予算編成の基本的な考え方

令和5年度の青葉区の予算編成にあたっては、様々な工夫をしながら、効率的・効果的に取り組みを進めます。

市政の羅針盤となる中長期的な計画・方針である「財政ビジョン」、「新たな中期計画」、「行政運営の基本方針」及び今後示される予定の横浜市の予算編成方針を踏まえながら、編成作業を行います。

あわせて、「地域連携力」を深め、「チーム力」を一層高めながら、区民の皆様に「信頼」される区役所づくりを進めるとともに、職員が持てる力を発揮できるよう「健康区役所」の推進に取り組めます。

< 予算編成の柱～「住みつづきたい・住みたいまち 青葉」を目指して～ >

◇ 誰もがいきいきと、健やかに暮らせるまちづくり

子育て支援事業、あおば健康スタイル、あおばかがやく生き生きプラン及び地域包括ケアシステム等の推進を通じて誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちづくりを進めます。

◇ 安全で安心して暮らせるまちづくり

防災や防犯、新型コロナウイルス感染症対策等に関する取組を通じて、さまざまなリスクに備え、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

◇ さまざまな人や地域の活力を高め、つながるまちづくり

さまざまな分野で多彩な人材・団体・活動が参加できる取組を実施するとともに、区制 30 周年に向けて地域の活力を高めます。

◇ 未来に向けて特色を生かすまちづくり

文化・芸術、食、自然、農業など、青葉区のさまざまな特色を生かした取組を実施するとともに、脱炭素化及び DX を推進し、将来にわたり魅力あるまちを目指します。